

令和8年度国際交流科目「グローバル人材育成研修」実施ガイドライン

海外で開催される国際会議での発表、海外留学先での研究活動への参加について、「グローバル人材育成研修」として履修し、単位を認定する手続・要件等について定める。

1. 履修対象

学部学生、大学院学生

2. 授業科目、単位数及び履修条件

授業科目名	単位数	開講学期	履修条件
グローバル人材育成研修1	0.5 単位	その他	海外で開催される国際会議で発表した者（ポスター発表等を含む。）
グローバル人材育成研修2	1 単位	その他	20日以上留学した者
グローバル人材育成研修3	2 単位	その他	40日以上留学した者

3. 事前・事後学修

事前・事後の学修を含めて単位を付与するため、必ず実施すること。

授業科目ごとの実施の目安は、「7. 授業科目詳細」を参照のこと。

4. 履修・単位認定の手続き

① 履修申請は、事後学修の終了後とする。

② 履修を希望する学生は、「国際交流科目『グローバル人材育成研修』単位認定申請書」（様式1）に必要事項を記入し、指導教員の承認を得た上で、所属部局の教務担当係に提出する。

なお、「グローバル人材育成研修1」の履修者は、以下の書類も併せて提出する。

※プログラム等で発表者として名前が確認できるもの。（オンラインの場合は、会議の開催期間が確認できるものも必要とする。）

③ 所属部局は、国際部国際学生交流課海外留学係に送付する。

④ 国際部国際学生交流課海外留学係は、申請書の内容を確認し、履修登録及び成績登録を行う。

5. 国際部国際学生交流課海外留学係への送付期限

（令和8年度春～夏学期実施分）9月卒業／修了予定者：令和8年8月14日（金）

上記以外の者：令和8年9月18日（金）

（令和8年度秋～冬学期実施分）3月卒業／修了予定者：令和9年1月22日（金）

上記以外の者：令和9年3月12日（金）※

※3月実施の研修に限り、令和9年4月30日（金）まで受付可

6. その他

同一セメスター内（春～夏学期、秋～冬学期）での同一科目の複数履修は不可。セメスター（春～夏学期、秋～冬学期）が変われば、再度履修可能。「グローバル人材育成研修1」、「グローバル人材育成研修 2」および「グローバル人材育成研修 3」は別科目のため、同一セメスター内であってもそれぞれ1回ずつの履修が可能。なお、年度が替わる場合は、同一科目の再度履修可能。過年度に遡っての履修登録は受付不可。ただし、3月卒業/修了者以外の者に限り、3月実施を理由に上記期日までの提出が出来ない場合は、翌年度4月末まで受付可とする。

7. 授業科目詳細

科目名	グローバル人材育成研修 1
単位数	0.5 単位
担当教員	有川 友子、各教員
授業科目区分	国際交流科目（グローバルイニシアティブ科目群）
派遣期間	2日間～1週間程度 ※オンラインの場合は参加期間
履修対象	学部学生、大学院学生
受講人数	特に定めない
授業の目的	海外留学を通じて最先端の研究に触れ、研究テーマの視野を広げる。 海外の研究者との交流を通じて国際性を高める。
履修条件/ 受講条件	海外で開催される国際会議で発表した者（ポスター発表等を含む。）
授業内容/ 授業計画	●事前学修（2～8時間） 指導教員等による発表の練習と指導を受ける。 参加する国際会議について情報収集を行う。
	●研修（10～20時間） 国際会議で口頭発表又はポスター発表を行うとともに、最先端の研究に関する情報を集める。 オンラインの場合は、参加者との学術交流を行うこと。（※）
	●事後学修（1～5時間） 国際会議で得た成果について、帰国後に報告会を開催して発表を行うもしくはレポートを提出する。
	※合計23時間以上となるように実施すること。
成績評価	事前学修、研修活動、事後学修に対する取組と成果により評価する。 可否科目とする。
事務担当部署	国際部国際学生交流課
<p>※オンラインにおける参加者との学術交流</p> <p>他の発表者への質問、オンライン会議システムのチャット機能による参加者との質疑応答など、「履修条件/受講条件」に記載の“海外の研究者との交流”と考えられるものであれば該当します。</p>	

科目名	グローバル人材育成研修2
単位数	1単位
担当教員	有川 友子、各教員
授業科目区分	国際交流科目（グローバルイニシアティブ科目群）
派遣期間	20日以上
履修対象	学部学生、大学院学生
受講人数	特に定めない
授業の目的	海外留学を通じて最先端の研究に触れ、研究テーマの視野を広げる。 海外の研究者との交流を通じて国際性を高める。
履修条件/受講条件	20日以上留学した者を対象とする。
授業内容/ 授業計画	●事前学修（2時間程度） 海外留学で行う研究について情報を収集し、研究計画の立案や事前学修などの準備を行う。
	●研修（40時間程度） 海外留学先で研究活動を行う。
	●事後学修（3時間程度） 海外留学で行った研究活動をもとに、レポートを提出する。さらに、教員が立ち会う報告会を開催し、研究発表を行う。
	合計45時間以上となるよう実施すること。
	事前学修、研修活動、事後学修に対する取組と成果により評価する。 合否科目とする。
成績評価	事前学修、研修活動、事後学修に対する取組と成果により評価する。 合否科目とする。
事務担当部署	国際部国際学生交流課

科目名	グローバル人材育成研修3
単位数	2単位
担当教員	有川 友子、各教員
授業科目区分	国際交流科目（グローバルイニシアティブ科目群）
派遣期間	40日以上
履修対象	学部学生、大学院学生
受講人数	特に定めない
授業の目的	海外留学を通じて最先端の研究に触れ、研究テーマの視野を広げる。 海外の研究者との交流を通じて国際性を高める。
履修条件/受講条件	40日以上留学した者を対象とする。
授業内容/授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ●事前学修（2時間程度） 海外留学で行う研究について情報を収集し、研究計画の立案や事前学修などの準備を行う。
※実施時期・実施場所等の調整を行うとともに、学修時間の確保に留意願います。	<ul style="list-style-type: none"> ●研修（85時間程度） 海外留学先で研究活動を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ●事後学修（3時間程度） 海外留学で行った研究活動をもとに、レポートを提出する。さらに、教員が立ち会う報告会を開催し、研究発表を行う。
	合計90時間以上となるよう実施すること。
成績評価	事前学修、研修活動、事後学修に対する取組と成果により評価する。 合否科目とする。
事務担当部署	国際部国際学生交流課